

# 地域医療支援病院業務報告書

令和 5年 9月 5 日

(申請者)  
横浜市長

申請者 住 所 横浜市金沢区瀬戸22-2  
公立大学法人横浜市立大学

氏 名 理事長 小山内 いづ美

法人の場合は、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名

電 話 045-261-5656

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

## 1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22番2号
氏 名	公立大学法人 横浜市立大学

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

## 2 病院名

フリガナ	コウリツダイガクホウジン ヨコハマイチリツダイガクフゾクシミンソウゴウイリョウセンター
病院名	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

## 3 所在地

〒232-0024 横浜市南区浦舟町4丁目57番地 電話：(045)261-5656
--

## 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
50床	0床	0床	0床	676床	726床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 G-ICU8床・E-ICU12床・CCU6床・NICU9床 生体情報モニタリングシステム、人工呼吸器、除細動器、超音波診断装置、内視鏡システム、DVT予防フットポンプ、血液ガス分析装置、体温維持装置、医療用ポンプ、スケールベッド、血液浄化装置、補助循環装置、閉鎖式・開放式保育器、電気メス、陰陽圧空調システム、顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:2800)
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置(日立ハイテック:Labospect008α、Labospect006)、全自動免疫分析装置(ロシュ:COBAS8000、シーメンス:ケミルミADVIA Centaur XPT)、多項目自動血球分析装置(シスメックス:ZN-9100)、全自動血液凝固測定装置(シスメックス:CN-6500)、全自動尿分析装置(栄研化学:US3100R plus)、全自動尿中有形成分分析装置(シスメックス:UF-1000i)、高純水製造装置(メルク)、システム顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA)、試薬冷蔵庫・ディープフリーザー・バイオハザード用安全キャビネット(PhC)
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査装置(ベックマン・コールター:WalkAway96plus)、全自動血液培養装置(日本BD:BACTEC)、バイオハザード用安全キャビネット(PhC)、システム顕微鏡(オリンパス:BX43)、蛍光顕微鏡(オリンパス:BX53)、遠心分離機(KUBOTA:S700FR)、遺伝子解析装置(バイオメュージヤパン:FilmArray、ロシュ:コハスz480、ロシュ:MagNApure24システム、Bio Rad:QX200 Droplet Reader IVDシステム)、自動染色装置(セントラル科学貿易:POLYSTAINER)、試薬冷蔵庫・ディープフリーザー(PhC)ふ卵器・CO2培養器(HIRASAWA)、オートクレーブ(TOMY:SX-500)
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置・自動免疫染色機・遺伝子検査機器・薄切器・自動包埋装置・包埋センター・スライドガラスプリンター・顕微鏡・遠心機・凍結標本作製機・撮影装置・実験台・浄水器・電子顕微鏡・超薄切器・クリーンベンチ・安全キャビネット・試薬冷蔵庫・試薬棚・ホルマリン対策用切出台・秤・カセットプリンター
病理解剖室	(主な設備) 解剖台・撮影装置・冷蔵庫・水洗槽・臓器保管棚・安全キャビネット・臓器固定槽・ホルマリン対策用切出し台・遺体安置冷蔵庫・秤
研究室	(主な設備) ディープフリーザー、イメージアナライザー、マイクロプレートリーダー、卓上型振とう恒温槽、ディスカッション顕微鏡、小型超遠心機、リアルタイムPCRシステム、オールインワン蛍光顕微鏡、超純水製造装置システム、マイクローム、全自動電気泳動装置、クリーンベンチ、薬用冷蔵庫ショーケース、スーパーエレクトロポレーター、マルチガスインキュベーター、インジェクションシステム、紡錘体可視化システム、自動セルカウンター等、レーザー穿孔装置、ダイセクションシステム、実体顕微鏡、CO2インキュベーター等
講義室	室数 1 室 収容定員 60 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 4,127冊程度 学術雑誌 1,006 種 (電子ジャーナル)21,754種 ※電子ジャーナルについては、全学の契約タイトル数
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 59.3 m <sup>2</sup> 【共用室の場合】

(注)主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①/② - (③+④+⑤)	90.4%
	①紹介患者数	20,936人
	②初診患者数	25,313人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,867人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	296人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦/② - (③+④+⑤)	94.3%
	⑦逆紹介患者数	21,827人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	29人	歯科医師	0人	看護師	157人
薬剤師	61人	臨床検査技師	73人	臨床工学技士	26人
診療放射線技師	59人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	47床
専用病床	(E-ICU)12床 (救命病棟)8床 (救命後方病棟)27床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
X線撮影室	23.3㎡	(主な設備)X線単純撮影装置 島津製作所;UD150BC-41	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT検査室	25.4㎡	(主な設備)X線CT検査装置 キヤノン;TSX-303B/GA	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT初療室	67.8㎡	(主な設備)X線CT検査装置 東芝;TSX-303A/PI	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
X線透視室	29.8㎡	(主な設備)X線透視撮影装置 キヤノン;DREX-UI80/07	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
血管撮影室	47.5㎡	(主な設備)X線血管撮影装置 東芝;INFX-8000V/JE	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救急棟地下2階 MR検査室	28.3㎡	(主な設備)MRI検査装置 東芝;MRT-1510	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

### 4 備考

平成15年4月 厚生労働省から高度救命救急センターに承認

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

#### (1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,223人
	(1,867人)
上記以外の救急患者の数	5,709人
	(2,431人)
合計	9,932人
	(4,298人)

※括弧内は、初診救急患者数

#### (2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A: 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B: 救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,768,363人
C: $A/B \times 1,000 > 2$	0

※2022年4月1日時点の人口

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

### 1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	23施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	23施設
医療機器共同利用件数	90件
共同利用病床数	1床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

### 2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他( )	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

### 3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

### 4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0件
	無	458件

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件一開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙1-1、1-2のとおり
---------------

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	56回
(2) (1)の研修参加者数	3,188人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(3) 研修指導者数	14人	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
6階会議室	147.1m <sup>2</sup>	(主な設備)テレビ会議システム、電子カルテシステム、プロジェクターシステム(ブルーレイ)、大型スクリーン、マイク、司会者台、調光、湯沸かし室 会議机(3人掛)18台、椅子75脚
	0.00m <sup>2</sup>	(主な設備)
	0.00m <sup>2</sup>	(主な設備)
	0.00m <sup>2</sup>	(主な設備)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	医事課長兼患者サポート課課長	
管理担当者(役職名)	診療情報管理担当係長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	各部署及びシステムサーバ (病院日誌、各科診療日誌(病棟日誌)は、紙媒体、その他は、電子カルテで患者IDごとに分類)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携担当
	救急医療の提供実績	医事管理担当
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域連携担当
	閲覧実績	地域連携担当
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域連携担当

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	医事課長兼患者サポート課課長		
閲覧担当者(役職名)	地域連携担当係長		
閲覧の求めに応じる場所	病院内各会議室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>①令和4年7月15日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度 地域医療連携実績報告</li> <li>2 一般不妊治療とその保険適応に伴う医療連携体制の構築</li> <li>3 外来初診予約制推進の取り組み</li> </ol> <p>②令和4年10月21日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度上半期 地域医療連携実績報告</li> <li>2 新型コロナウイルス感染症第7波における当院の状況</li> <li>3 事前アンケートに対する質疑応答</li> </ol> <p>③令和5年2月17日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度 地域医療連携実績報告</li> <li>2 事例を通して円滑な地域医療連携を考える</li> <li>3 事前アンケートに対する質疑応答</li> </ol> <p>④令和5年3月23日(文書送付による開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第3回地域医療支援事業運営委員会議事録</li> <li>2 令和4年度 地域連携データ(4月～2月)</li> <li>3 令和4年「病院要覧」</li> <li>4 十全(病院広報誌)</li> <li>5 地域医療連携交流会(令和5年度 第1回地域医療支援事業運営委員会)開催案内</li> </ol>	

(注)委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。



## 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
	「その他」記入欄 病棟面談
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー、看護師、 相談員(看護師、事務職員)
患者相談件数	43,205件
患者相談の概要	
<p>①医療ソーシャルワーカーによる相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転退院支援</li> <li>・介護保険、障害者総合支援法のサービス導入</li> <li>・経済的な課題に対する相談支援</li> <li>・権利擁護(児童・高齢者・障害者虐待、ドメスティックバイオレンス等)</li> <li>・その他の社会的・心理的な相談支援</li> </ul> <p>②地域連携・入退院支援センター看護師による入退院支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院予定患者のプロフィール聴取、退院支援が必要なリスクの抽出</li> <li>・各担当病棟での入院患者に対する退院支援(療養先の選択、介護保険案内、日常生活援助含めたサービス調整、緩和ケア病棟の案内など)</li> <li>・院内外関連スタッフとの連携、カンファレンスなどの開催</li> <li>・地域医療機関(訪問看護・在宅支援診療所・病院)、福祉施設、事業所、関連する行政機関との連携</li> </ul> <p>③医療コーディネーター(メディエーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関の情報提供(かかりつけ医の検索)</li> <li>・セカンドオピニオンの相談</li> <li>・病院に対する意見や苦情の窓口</li> <li>・医療安全管理に対する相談の窓口</li> <li>・電話相談(相談内容により関連部署に繋げている)</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 「機能種別 一般病院3 (3rdG:Ver2.0)」 (令和2年1月6日)		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	・情報発信の方法、内容等の概要 ①病院のご案内(冊子):1回/年発行 近隣の医療機関に郵送している。 登録医制度や共同利用制度、診療科のカンファレンスへの参加などの案内と、当院の各診療科の診療内容について具体的な情報を掲載している。 ②十全(情報誌):2回/年発行 一般向け 病院の各所に置いて自由にお持ちいただく 当院が取り組んでいる地域医療の情報(救急医療、災害対策等)や、診療のトピックスなど ③外来担当医表:2回/年発行 地域医療機関向け 当院の外来担当医を掲載し郵送している。 ④病院ホームページ:随時編集 地域医療連携研修会の開催案内や、上記①, ②の編集等 ⑤メールマガジン「横浜市大センター病院 連携NEWS」:診療科のトピックスなどを紹介。		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	・退院調整部門の概要 名称 患者総合サポートセンター(医療ソーシャルワーカー・看護師・事務) 本人・家族の意思決定を支援しつつ、療養上の課題、療養の場の選択・移行に関する調整等を行い円滑な転退院支援に取り組む。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん	
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①パスの内容や運用等を説明するために診療所等への説明 ②医師と共にパス内容と運用の見直し ③パス適応患者の選定と担当者との活用推進	

# 横浜市立大学附属市民総合医療センター共同利用制度運営要領

制 定 平成 16 年 5 月 21 日

最近改正 令和 4 年 4 月 1 日

## 第 1 総則

### 1 目 的

この要領は、横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下「当院」という。）の施設又は医療設備を主に横浜市南区、西区、中区、港南区、磯子区、金沢区、栄区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

### 2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次のとおり甲（紹介患者診療型共同利用を行う）、乙（紹介患者診療型共同利用を行わない）とする。

- 甲
  - (1) 医療器械利用型共同利用
  - (2) 研究部門利用型共同利用
  - (3) 研修会等参加型共同利用
  - (4) 紹介患者診療型共同利用
- 乙
  - (1) 医療器械利用型共同利用
  - (2) 研究部門利用型共同利用
  - (3) 研修会等参加型共同利用

### 3 共同利用制度の遵守事項

共同利用制度を利用する者は、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、あらかじめ、管理部患者総合サポート課地域連携担当で受付を行う。
- (2) 当院内においては、第 2 の 5 により発行された登録医証又は登録歯科医証を必ず着用しなければならない。ただし、研修会等参加型共同利用については、この限りでない。
- (3) 当院の諸規則を遵守する。

### 4 報酬

- (1) 共同利用制度を利用する者に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

## 第 2 医療機関の登録

### 1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

## 2 登録の対象機関

共同利用制度において登録できる機関は、地域に所在する医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）とするが、地域外で共同利用を希望する医療機関等についても登録できるものとする。

## 3 登録の申請

(1) 共同利用制度の事前登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長（以下「病院長」という）に申請するものとする。

(2) その際、利用内容の甲（第1の2）を希望する医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出するものとする。

(3) 病院長は、申請内容を審査し事前登録を承認した場合は、「共同利用制度登録機関名簿」にその医療機関等の名称、所在地、医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

## 4 登録医証、登録歯科医証及び登録機関証の発行

(1) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等（以下「登録医療機関」という。）に対しては、登録機関証を発行する。

(2) 病院長は、「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関等の医師又は歯科医師（以下「登録医」という。）に対しては、登録医証又は登録歯科医証を発行する。

## 5 登録名

共同利用制度の利用登録名は、登録医療機関の名称をもって登録するものとする。

## 6 登録内容の変更

(1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」により病院長に申請するものとする。

(2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

## 7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対し、その旨を申し出、登録医証、登録歯科医証及び登録機関証を返還しなければならない。

## 8 登録の取消

登録医に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。また、登録医療機関の看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

# 第3 紹介患者診療型共同利用

## 1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され来院若しくは入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

## 2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、医師については医師免許証の写しを、歯科医師については歯科医師免許証の写しをあわせて提出し登録された医療機関の登録医等とする。

## 3 共同利用のための病床

当該共同利用のための病床として、1床を確保する。

## 4 利用内容等の事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

# 第4 医療器械利用型共同利用

## 1 医療器械利用型共同利用の目的

登録医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、登録医と当院医師が当院の医療器械を共同利用することにより、検査後の円滑な診療につなげるとともに、地域医療連携の推進を図ることを目的とする。

## 2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医とする。

## 3 共同利用のための医療器械

当該共同利用として利用できる医療器械は、次のとおりとする。

- (1) コンピュータ断層撮影装置 (CT)
- (2) 磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置 (MR)
- (3) 核医学診断装置 (RI)
- (4) 超音波診断装置
- (5) 長時間心電図記録装置
- (6) 二重エネルギー骨X線吸収測定一体型装置 (DXA)
- (7) 脳波検査

## 4 利用内容等の事前調整

検査目的で紹介した患者に対して、当該共同利用を行おうとする登録医は、あらかじめ管理部患者総合サポート課地域連携担当に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

# 第5 研究部門利用型共同利用

## 1 研究部門利用型共同利用の目的

登録医療機関の医療従事者のために当院の研究部門の機能を開放し、地域の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要に応じて、その研究活動に対し、互いに連携することで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

## 2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、登録医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

### 3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる研究部門は、図書室とする。

### 4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては登録医証、登録歯科医証又は登録機関証を提示し、所定の手続を行うとともに備え付けの利用簿に必要事項を記入し利用するものとする。
- (2) 図書室の利用については、資料の室内閲覧及び複写とし個人情報以外の情報等に限りとする。(電子ジャーナルの閲覧は含まない)

## 第6 研修会等参加型共同利用

### 1 研修会等参加型共同利用の目的

当院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、研修研究活動を進めることで、地域医療の質の向上を図ることを目的とする。

### 2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

### 3 対象研修会等

当該共同利用のために参加できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) センター病院 CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動
- (2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動
- (3) 病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動
- (4) 記念的行事として行われる講演会、その他これに類する研修研究活動

### 4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

## 附 則

### (施行日)

- 1 この要領は、平成 16 年 5 月 21 日から施行する。
- 2 この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 3 この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この要領は、平成 25 年 9 月 1 日から施行する。
- 5 この要領は、平成 29 年 12 月 1 日から施行する。
- 6 この要領は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 7 この要領は、令和 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 8 この要領は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

## 地域医療連携研修会 実績 (各診療科)

(令和4年度)

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第1回	5/12 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会①		6	80	86
第2回	5/25 (水) 18:50~20:15 オンライン配信	第12回南横浜婦人科病診連携会 「過多月経の管理~マイクロ波子宮内膜アブレーションを中心に~」 「当院の子宮筋腫に対する子宮全摘術」		19	23	42
第3回	5/26 (木) 19:20~20:45 ハイブリッド開催	第8回南横浜整形リウマチ懇話会 【特別講演】 「膝周囲骨切り術のすべて」		21	61	82
第4回	6月12日(日) 14:00~16:00 オンライン配信	厚生労働省 HPVワクチン拠点病院整備事業 慢性痛モデル事業 医療者講習会 「HPVワクチン勧奨接種再開に向けて 地域連携の大切さについて」 「児童・思春期の心身不調：子どもと保護者の気持ちを理解することの大切さ」 「ズーム参加者からの質疑応答 会場におけるディスカッション」		0	363	363
第5回	6/15(水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第81回CPC (臨床病理検討会) 「肺癌化学放射線療法後の維持療法中に腫瘍マーカーの著明な上昇を認めたが、画像上に再発所見を認めなかった一例」		26	0	26
第6回	6/16(木) 19:20~20:30 オンライン配信	第56回横浜ベイエリアハートセミナー 【ケースカンファランス】 「TAVI/Mitra Clipを実施した症例」 【レクチャー】 「心不全を見据えた高血圧治療」		21	18	39
第7回	7/7 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会②		7	75	82
第8回	7/14 (木) 19:00~20:00 オンライン配信	呼吸器病センター 地域医療連携研修会 「COPD治療における医療連携」 「ED SCLCの治療を変えた免疫チェックポイント阻害剤による治療戦略~イミフィンジの臨床経験を踏まえて~」		18	7	25
第9回	8/31 (水) 19:15~21:00 オンライン配信	第14回内分泌・糖尿病内科 病診連携の会 「認知症と糖尿病について」 「多職種連携で目指す『かゆいところに手が届く』患者教育の第一歩~糖尿病教室のご紹介~」 【特別講演】 「糖尿病診療の進歩と最適化」		24	16	40
第10回	9/1 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会③		7	70	77
第11回	9/15 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	地域医療連携研修会 「アルコール性肝障害について」 「アルコール依存症の治療について」		22	20	42
第12回	9/21 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第82回CPC (臨床病理検討会) 「パーキンソン病の加療中に呼吸不全により死亡した一例」		20	0	20
第13回	10/6 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	地域医療連携研修会 「高度肥満症の内科的治療」 「肥満外科の現状」		13	12	25
第14回	10月9日(日) 14:00~15:30 オンライン配信	厚生労働省 HPVワクチン拠点病院整備事業 厚生労働省 慢性痛モデル事業 医療者研修会 「HPVワクチン積極的勧奨接種再開に寄せて ワクチン接種後の遅延痛について」		4	186	190
第15回	10/20 (木) 19:20~20:40 オンライン配信	第57回 横浜ベイエリアハートセミナー 「急性大動脈解離の診断-病歴と心電図を中心に」 「実地医家のための急性大動脈症候群の診断と治療」		18	23	41
第16回	11/9 (水) 18:30~20:00 オンライン配信	第72回 感染症フォーラム 「グラム陰性菌感染症における最近の話題-TAZ/CTLZへの期待」		7	30	37
第17回	11/10 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会④		9	73	82
第18回	11/17 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	第9回南横浜整形リウマチ懇話会 「当院での膝関節温存治療~膝周囲骨切り術、半月板縫合術を中心に~」 「腰椎PLIF後のcage subsidenceのリスク因子の検討」 「大腿骨近位部骨折におけるPatient flow management と二次性骨折予防の管理について」		22	13	35



	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第19回	11/17 (木) 19:00~20:10 オンライン配信	呼吸器病センター 地域医療連携研修会 「コロナ感染後の咳診察について」 「術前化学放射線療法後に手術治療を行った肺尖部胸壁浸潤肺癌 (Superior Sulcus Tumor) ~集学的治療による肺癌治療の進歩~」		20	17	37
第20回	11/17 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	第1回地域がん医療連携研修会 「緊急ACP、救急・集中治療の現場での意思決定支援」		64	60	124
第21回	11/30 (水) 18:50~20:15 オンライン配信	第13回南横浜産婦人科病診連携会 「子宮体癌~内膜細胞診異常から最新の治療まで~」 「婦人科ロボット手術の導入~より安全な手術を目指して~」		19	23	42
第22回	12/6 (火) 19:00~20:00 オンライン配信	糖尿病 Total Care セミナー 「糖尿病患者の治療全般」 「放っておかれるの何故? -糖尿病性神経障害のナゾ-」		不明	不明	20
第23回	12/12 (月) 18:00~19:45 オンライン配信	第1回腎代替療法施設連携研修会 「腎移植の実際 (当院の腎移植について)、生体腎移植のドナーについて」 「腎移植 (生体、献腎) の申し込み方法について」 「腹膜透析 (CAPD、APD) および腎代替療法選択外来について」 「在宅血液透析について」		15	36	51
第24回	12/14 (水) 19:00~20:30 オンライン配信	第2回地域がん医療連携研修会 「横浜市大センター病院におけるがんゲノム医療の実践」		52	15	67
第25回	12月15日 (木) 19:00~20:30 オンライン配信	こころと痛みのベイサイドセミナー 「発達障害を持つ方の理解の仕方や彼らが持つ独特な感覚について」		0	207	207
第26回	12月16日 (金) 19:00~20:45 オンライン配信	地域医療連携研修会 (南区医師会合同) 「泌尿器科疾患における病診連携~泌尿器科クリニックでできること・大学病院でしかできないこと」 座談会「南区の地域医療を考える」		42	21	63
第27回	12/21 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第83回CPC (臨床病理検討会) 「ANCA関連血管炎、脊髄血管障害、細菌性髄膜炎疑いで加療中に心肺停止で急死した一剖検例」		24	0	24
第28回	1/5 (木) 18:30~20:00 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会⑤		8	75	83
第29回	1/25 (水) 18:20~20:00 オンライン配信	第73回 感染症フォーラム 「コロナ禍におけるインフルエンザ診療~同時流行への備え~」		14	14	28
第30回	1/26 (木) 18:50~20:00 オンライン配信	肝疾患医療センター 地域医療連携研修会 「HCV・HBV治療のトピックスと地域連携」		9	18	27
第31回	1/27 (金) 18:00~19:45 オンライン配信	第2回腎代替療法施設連携研修会 「在宅血液透析の導入と管理」 「PDをいかにしてふやすか~戦略とコツ~」 「当院での腎移植医療における感染対策」		19	80	99
第32回	2/12 (日) 10:00~12:00 オンライン配信	慢性疼痛診療 オンライン研修会		0	19	19
第33回	2/15 (水) 17:45~18:45 本館6階会議室	第84回CPC (臨床病理検討会) 「突然の心停止で救急搬送された一例」		20	0	20
第34回	2/16 (木) 19:20~20:35 オンライン配信	第58回横浜ベイエリアハートセミナー 「WATCHMANと抗凝固療法」 「経皮的左心耳閉鎖術の今を知る~Evidenceに基づいた利点と欠点」		11	20	31
第35回	2/21 (火) 18:50~20:00 オンライン配信	第10回南横浜整形リウマチ懇話会 「ビスホスホネート投与下に非定型大腿骨骨折をきたした1例」 「足関節外果骨折のgravity撮影」 「骨盤骨折Up To Date」		15	3	18
第36回	3/2 (木) 18:30~19:30 オンライン配信	皮膚疾患研究会 症例検討会⑥		9	81	90
第37回	3/8 (水) 18:00~19:00 オンライン配信	第9回市民総合医療センター褥瘡対策フォーラム・市大病院学会 「褥瘡の入院治療でできること-創閉鎖前の課題が山積み-」		20	23	43

	日時	テーマ	講師	参加人数		
				院内	院外	合計
第38回	3/22 (水) 18:15~20:00 オンライン配信	第74回感染症フォーラム 「withコロナ時代の感染症診療・抗菌薬適正使用」		7	18	25
合計						2,452

## 地域医療連携研修会 実績（薬剤部）

（令和4年度）

	日時	テーマ	講師	参加者数
第1回	R4年5月24日（火） 19:15～20:45	腎機能低下患者における薬学的管理 CKD薬物治療の進歩		104人 (院内14人、院外90人)
第2回	R4年7月21日（木） 19:15～20:45	夜間頻尿の診断と治療		32人 (院内0人、院外32人)
第3回	R4年9月27日（火） 19:15～20:45	逆流性食道炎診療の最近の話題と酸分泌抑制薬の臨床的位置づけ		58人 (院内0人、院外58人)
第4回	R4年10月18日（火） 19:00～20:30	パーキンソン病の薬物療法		67人 (院内7人、院外60人)
第5回	R4年11月10日（木） 19:15～20:45	うつ病の薬物療法について		53人 (院内1人、院外52人)
第6回	R4年11月29日（木） 19:00～20:30	行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等		33人 (院内0人、院外33人)
第7回	R4年12月20日（火） 19:00～20:30	胃癌薬物療法～ガイドラインの実践と支持療法～		45人 (院内7人、院外38人)
第8回	R5年1月11日（水） 19:00～20:30	頭痛診療における地域連携について		49人 (院内0人、院外49人)
合計				441人 (院内29人、院外412人)

## 地域医療連携研修会 実績（看護部）

（令和4年度）

オープンセミナーのみ

	日時	テーマ	講師（敬称略）	参加者数
第1回	2022年5月17日（火） 17:30～18:30	フィジカルアセスメントⅡ ①呼吸不全		12人 (院内12人、院外0人)
第2回	2022年6月14日（火） 17:30～18:30	フィジカルアセスメントⅡ ②循環不全		34人 (院内13人、院外21人)
第3回	2022年6月22日（水） 17:30～18:30	フィジカルアセスメントⅡ ③中枢神経アセスメント		29人 (院内12人、院外17人)
第4回	2022年7月13日（水） 17:30～18:30	フレイル・嚥下機能アセスメント		23人 (院内16人、院外7人)
第5回	2022年7月20日（水） 17:30～18:30	フィジカルアセスメントⅠ ①循環の異常		36人 (院内10人、院外26人)
第6回	2022年8月4日（木） 17:30～18:30	フィジカルアセスメントⅠ ②呼吸の異常		38人 (院内16人、院外22人)
第7回	2022年9月8日（木） 17:30～18:30	周手術期看護		29人 (院内6人、院外23人)
第8回	2022年10月6日（木） 17:30～18:30	糖尿病患者の看護		24人 (院内8人、院外16人)
第9回	2022年10月20日（水） 17:30～18:30	メンタルアセスメント 精神症状アセスメント		28人 (院内5人、院外23人)
第10回	2022年12月15日（木） 17:30～18:30	認知症患者の看護		42人 (院内11人、院外31人)
合計				295人 (院内109人、院外186人)